

2012年度 第4回定例会 (11月28日~12月26日) では、齊藤信行議員、赤羽目たみお議員が本会議質問を行いました

くらし応援の予算編成を！ 安心の介護保険制度に



齊藤信行議員

齊藤信行議員は、三点について区長に質問しました。①区の来年度予算編成について。②石原都政の転換について。③介護保険に

拡大することが必要と強調。消費税増税の中止と日本共産党の「経済改革ビジョン」を示して区長の見解をただしました。

まず来年度予算編成については、悪化する景気と日本経済の立て直しのため国民の所得を増やし、内需を

区民のくらしを応援せよ

江東区の来年度予算編成については、認可保育園の増設、中小企業予算の増額、国保料の値下げ、就学援助の拡大、重度介護手当の創設、若者の就労支援、住宅リフォーム助成などを予算に盛り込み、区民のくらしを応援するよう求めました。また職員削減で防災上も問題が出ていると地域一

時避難場所に指定されている学校の夜間機械警備をやめ、当直の区職員を配置すべきと求めました。

石原都政の転換

区長の認識を問う

石原都政の転換では、新銀行東京、福祉の削減、築地市場の豊洲移転、オリンピック東京招致、憲法破壊などの言動を批判し、区長の認識を問いました。同時に「人にやさしい東京」憲法が息づく東京」をめざす党の決意を表明しました。

速やかに地域

包括支援センターへ

介護保険の質問では、生活援助の時間短縮で利用者やヘルパーから批判の声が上がっているとヘルパーの声を紹介し、時間短縮の撤回を国に求めよと迫りました。また特別養護老人ホームの不足を指摘し、民間任せにせず区が積極的に建設を推進せよと求めました。在宅介護支援センターと地域包括支援センターの統合だけではなく、区内20カ所ある在宅介護支援センターを高齢者の多様な相談に応じられるよう速やかに地域包括支援センターへと移行させよと求めました。

原発ゼロ、再生可能 エネルギーの普及に全力を



赤羽目たみお議員

共産党区議団は11月9日、福島原発の事故で大きな被害を受けた南相馬市を視察し、放射線量が高くて住民が戻れず無人化した市街地等、除染や復旧が進んでいない状況を目の当たり

「原発ゼロ」を目指す立場で声を上げていくべきと質問しました。さらに、区としても太陽光発電システム設置助成金の引き上げや、街路灯や公園照明のLED化等再生可能エネルギー事業を

にしてみました。赤羽目議員は、一旦事故が起きれば悲惨な事態になることは証明されています。区長は「原発ゼロ」を

促進するよう求めました。

生活保護制度の改善

撤回を国に求めよ

生活保護は、憲法25条に規定する生存権を実現するため、国の責任において、生活に困窮するすべての国民に対し、必要な支援を行う制度です。しかし国は、増え続ける生活保護費をどう抑えるかの発想に立ち、支給申請を抑制させ、受給者に対しては保護からの追い出し等、生活保護制度の

高齢者の社会的孤立を防ぐ対策の強化を

改悪を狙っています。赤羽目議員は、貧困と格差が拡大する中で、最後のセーフティーネットである生活保護制度の改悪は許されないと述べ、改悪撤回を国に求めるべきと質問しました。家族や地域との関係が希薄化している中で、高齢者の社会的孤立や孤独死が一層深刻となっています。赤羽目議員は、公営の集合住宅等、局地的に高齢化している地域の実態把握や、見守り事業の改善を求めました。

議会日程(予定)

28	18	15	14	13	12	8	7	6	5	~	27	25	21	20	
本会議	医療介護特別委	北交通特別委	まちづくり、南	防災特別委	清掃港湾特別委	本会議	文教委員会	区民環境委員会	建設委員会	厚生委員会	企画総務委員会	本会議	補正予算審査	25年度予算審査	本会議

どんなことでもお気軽にご相談ください

生活・法律相談案内

あいうえお順



区議会議員
赤羽目たみお
江東区石島九一五
☎五五六八五一一一五
第2水曜・午後6時半



区議会議員
大つきかおり
江東区枝川一六一一三
☎三六四五一一七六四
第4木曜・午後6時半



区議会議員
きくち 幸江
江東区大島二二七七一六
☎三六八五一一七八八四
第3木曜・午後6時半



区議会議員
齊藤 信行
江東区東陽一六一一九
☎三六四四一七三九〇
第2木曜・午後6時半



区議会議員
正保 みきお
江東区北砂四一四一一一
☎三六四〇一四三七七六
第3木曜・午後6時半



区議会議員
すがや 俊一
江東区大島五一四八一〇
☎三六八三一一〇七四五
第4木曜・午後7時



区議会議員
そえや 良夫
江東区東砂七一〇一二四
☎五六八三一一八八五
第3金曜・午後7時